

平成 28 年度 一般入学試験問題（I 期）

国 語

注意事項

1. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ①氏名欄
氏名・フリガナを記入しなさい。
 - ②空欄
「年月日欄」の右横の空欄に「国語」と記入しなさい。
 - ③番号欄
受験番号を左詰めで記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
2. この冊子は、問題が 20 ページあります（空白ページ 1 ページを含む）。
3. 試験中に印刷の不鮮明、落丁・乱丁あるいは解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
4. 受験番号が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。たとえば、

10

と表示のある問いに対して 3 と解答する場合は、(例) のようにマークしなさい。

(例)

解答番号	解答記入欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

① 次の問に答えなさい。

問一 次の言葉の類義語をそれぞれ1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は 、②は

③は

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 割愛 | 1 | 簡略 | 2 | 略式 | 3 | 省略 |
| ② | 徘徊 | 1 | 迷走 | 2 | 遊離 | 3 | 彷徨 |
| ③ | 利発 | 1 | 聡明 | 2 | 機転 | 3 | 多才 |

問二 次の言葉の対義語をそれぞれ1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は 、②は

③は

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 貧賤 | 1 | 富貴 | 2 | 富力 | 3 | 富豪 |
| ② | 献上 | 1 | 贈呈 | 2 | 下賜 | 3 | 授与 |
| ③ | 閑静 | 1 | 狂騒 | 2 | 喧騒 | 3 | 騒乱 |

問三 次の語の空欄に、それぞれ1から3の中から語を選んで補い、四字熟語を完成させなさい。解答番号は、

①は 、②は 、③は

- ① 質 1 素 2 実 3 量

- ② □顔一笑 1 破 2 童 3 厚
- ③ 一騎□千 1 三 2 等 3 当

問四 次の語の空欄に、それぞれ1から3の中から語を選んで補い、慣用句を完成させなさい。解答番号は、①は 10、

- ②は 11、
- ③は 12

- ① 確たる地歩を 1 閉める 2 占める 3 締める
- ② 糊口を 1 あげる 2 ふさぐ 3 しのぐ
- ③ 悦に 1 出る 2 入る 3 見る

問五 次のことわざ・故事成語の意味を、それぞれ1から3の中から選びなさい。解答番号は、①は 13、

- ②は 14、
- ③は 15

- ① 青は藍より出でて藍より青し
- 1 弟子が先生の学識や技量を越える。
- 2 大成する人は子どもの時からすぐれている。
- 3 学識や才能が群を抜いて目立っている。

② 蛇の道は蛇

- 1 同じ立場にある者は互いに助け合わなければならない。
- 2 連絡をとってひそかに意思を通じ合う。
- 3 同類の者は互いにその方面の事情に通じている。

③ かわいい子には旅をさせよ

- 1 子どもには世の中の厳しさを体験させた方がよい。
- 2 子どもには広い世界を見せてやった方がよい。
- 3 子どもの教育のためにはよい環境を選んだ方がよい。

空白ページ

二 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

原稿用紙十枚による掌編小説、^⑥煩惱の数と同じ百八本を二冊分にまとめ、書き下ろしという形で発表してから、網目模様にながっている人間界とそれを取り巻く^①森羅万象とがいつそう鮮明な輝きを放って胸に迫ってくるようになった。時を同じくして、この世そのものがまさに文学の宝庫であるという当然の自覚がさらに深まることになり、私たち人間にとって言葉がいったい何を意図したもののかを感得できる^②。門口に佇む^{たず}ことができたような、そんな境地に至った。

また、言語を唯一の頼みとする立場に身を置いているにもかかわらず、さながら音響芸術に携わっているかのごとき至高の気分にはひたれるようにもなった。あえて複雑な思考を重ねなくとも、^③形而下と形而上の狭間をめぐり行く行き来しなくとも、早朝に目を覚まし、ただ机を前にして座るだけで、わが心の内なる深きところから次々に紡ぎだされる文章のひとつひとつが妙なる^{たえ}楽の音を奏で、流れ星のごとき一瞬の光芒をきらめかせ、そのひと筋ひと筋がひとりで書き手自身を新たなる領域へといぎない、高峰へと導いてくれる日々は、まさに夢のようだった。

そして正月も日曜日もいっさい関係がない、休日なしのぶっ通しの執筆が庭をいろどる植物たちと共に四季をくぐり抜けてゆくうちに、長年大切に温めつづけてきた卵がまたひとつ^{ふか}孵化した。驚くべきは書きだしてからの速度で、^④優に一年以上を費やさなくてはならないだろうという予想と覚悟がみごとに裏切られ、千二百三十二枚という長編小説がわずか十カ月で完成したのだ。しかも、いつもの虚脱感に近い疲労感につつまれることがいっさいなく、存分に書いたという満足感だけがあとに残った。長い作家生活においても実に^①希有な印象だった。

四十代や五十代のときとはあきらかに異なって見える文学の宇宙へ、募る一方の創作意欲をまっしぐらに飛ばしつづけているうちに、小説家としてはきわめて望ましい方向へ歩を運んでいるという実感が六十代になってますます強まった。そうした自覚が^⑤魂のふところにかき抱く卵をひとつ残らず^{かえ}孵させることが可能ではないかという自信を差し招き、生活のすべてをそのためだけにセツトすることにまったく^⑥躊躇がなくなった。併せて、創作者や発見者の生涯における光輝の期間はほんの一瞬にすぎない

という、むかしながらの言われ方がかならずしも正しいわけではなく、例外もあり得るといふ手応えを感じた。

その孵卵ふらんが六十五歳になるまで引き延ばされた最大の原因は、事実のあまりの重さと、悲劇のあまりの痛々しさによるものだろう。フィクションという形式に頼って生身の人間が暮らしている街に原子爆弾が投下されたという厳然たる過去を表現するには、よしんばそれが正面切つての問題提起ではなく、あくまで物語の背景としての^②範疇はんしゅうにとどめおかれる現実の一部としてではあつても、^⑥果たしてそんなことをしていいのかという疚やましさを自覚しないわけにはゆかなかつたからだ。だが、どこまでも事実には則した記録としての意味合いを全面に押し出した戦争文学がたくさん生まれ、ほとんど出尽くした観が煮詰まつたと思えたとき、私のなかで「I」という声が響きわたり、想像力と創作力がその翼をいっぱいひろげ、終戦前後の日本の空を自在に飛び回り、光の言葉と雨の言葉を人間界にむけてたつぷりと降り注いだ。

たしかに楽しみながら書き進められるような性質の小説ではなかつたが、しかし、それでも過去のどの自作の場合にも得られなかつた充足感⑧を、堪能し、精神の奥底に死蔵されていた宝物を発見したような喜びを味わうことができた。筆の勢いきほいが凄まじく、制御するのにかなり苦労したものの、フィクションとノンフィクションの釣り合いはしっかりと保たれ、^⑦物語のほうがり位負けしってしまうようなことにはならなかつた。完成させたとき、いつもながらの脱稿だつこうの安堵感あんどの代わりに、描き切つたにもかかわらず後ろ髪をII 思いに駆られ、いつまでもその世界を浮遊うきゆうしていたいという衝動がつついた。

戦争という悲惨な事実を情緒でくるんで提示し、語り継いでゆくだけでも充分に意義はあり、恒久平和を欲し、いつの日かそれを実現させるためには必要不可欠なことであろう。だが、^⑧花東と黙禱もくたうと涕淚ていらいと後悔を突き抜けたところに戦争の真因が厳然として存在することも忘れてはならない。つまり、加害者と被害者という単純な区分けは勸善懲惡の芝居や映画と同様に腑ふに落ちやすいのだが、だからといってその前でいつまでも佇んでいたので、人類最大の罪惡としての戦争の核心部分はばやけたままで、ために、同じ失敗を延々と繰り返す羽目になつてしまふ。

^⑨奇しくもあの忌まわしい年から数えて今年が六十五年目であることに気づいたとき、この春に出版するわが新作が一気に責任の重みを増した。

問一 傍線㉔から㉒の漢字のよみを、それぞれ次の1から5の中から選びなさい。解答番号は、㉔は

㉑は 、㉕は 、㉖は 、㉗は

㉔	「煩惱」	1	ぼんのう	2	はんのう	3	ほんのう	4	くのう	5	おうのう
㉑	「希有」	1	きゆう	2	きう	3	きゆう	4	けゆう	5	けう
㉕	「躊躇」	1	じょうちよ	2	けんちよ	3	ちゆうちよ	4	そんちよ	5	たんちよ
㉖	「範疇」	1	はんじゆ	2	はんちゆう	3	はんでん	4	はんしゆう	5	はんとう
㉗	「堪能」	1	こうのう	2	じゆんのう	3	たんのう	4	さんのう	5	りようのう

問二 傍線①「森羅万象」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 特定の分野に関するあらゆるもの
- 2 宇宙に数限りなく存在するすべてのもの
- 3 問題になっているたぐさんの物事
- 4 自然界に存在するあらゆる生き物
- 5 普通の人には見えない霊的な存在

問三 傍線②「門口に佇むこと」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号

は 22

- 1 はじめの段階に達すること
- 2 新たな段階に向かって進むこと
- 3 一つの物事に集中すること
- 4 新しい目標を見出すこと
- 5 秘密の方法に気づくこと

問四 傍線③「形而下と形而上の狭間をめぐるしく行き来」とは具体的にどうすることか。最も適当なものを、次の1から5の

中から選びなさい。解答番号は 23

- 1 上手に書くことと、好きなように書きたいという欲求とのバランスを、うまく保とうとすること。
- 2 楽して生きようとする墮落した志向と、上を目指そうとする上昇志向との間で、気持ちが揺れ動くこと。
- 3 冷静なもの見方と、情熱的なもの見方の、どちらもできるようになるうと努力すること。
- 4 感覚的に把握できるものと、抽象的で観念的なものとの間で、激しく考えをめぐらすこと。
- 5 自分の理想の生き方と、現実の状況との間にある大きな隔たりに、悩み苦しむこと。

問五 傍線④「優に」と同じ意味の語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 珍しく
- 2 もしかすると
- 3 恐らく
- 4 少なくとも
- 5 最大限

問六 傍線⑤「魂のふところにかき抱く卵をひとつ残らず孵させる」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中

から選びなさい。解答番号は

- 1 長年頭の中で構想をめぐらしていた作品をすべて書くこと。
- 2 若いときの気力・体力を取り戻し、いつそう充実させること。
- 3 自分が思い描いてきた理想の人間に、すっかり生まれ変わること。
- 4 長年書いてみたかった新しい文体すべてに、挑戦してみること。
- 5 誰にも知られないようにしていたすべての望みを、実行に移すこと。

問七 傍線⑥「果たしてそんなことをしているのかという疚しさを自覚しないわけにはゆかなかった」とあるが、筆者はなぜこの

ように感じたのか。最も適当な理由を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 戦争のような悲惨な出来事を描くには、ノンフィクションではなくフィクションの形式がふさわしいと考えたから。
- 2 事実をそのまま物語の中に取り入れてしまうと、プライバシーの侵害になるのではないかと不安に思ったから。
- 3 歴史上実際に起こったあまりにも悲惨な事実を、物語の道具立ての一つのように取り扱ってよいものか迷ったから。
- 4 これまでたくさんの戦争文学が描かれてきたのに、今さら自分が戦争を題材とした物語を書いても無駄だと思ったから。
- 5 本当にあつた過去の出来事を題材にして物語を書こうとすると、必ず事実を歪曲することになってしまうと恐れたから。

問八 に当てはまる最も適当な表現を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 当を得た
- 2 機は熟した
- 3 機をのがした
- 4 目から鱗が落ちた
- 5 万事休す

問九 傍線⑦「物語のほう有位負けしてしまう」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解

答番号は

28

- 1 フィクションよりノンフィクションの方が、文学性が高いこと。
- 2 よけいなことをいろいろ書きすぎて、物語がつまらなくなる事。
- 3 まったく何も書くことができないままあきらめてしまう事。
- 4 物語の題材となった事実を、正確に描写することができない事。
- 5 現実の重さや悲しさに圧倒され、物語として十分に描ききれない事。

問十

Ⅱ

に当てはまる最も適当な語を、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は

29

- 1 取られる
- 2 結ばれる
- 3 切られる
- 4 奪われる
- 5 引かれる

問十一 傍線⑧ 「花束と黙禱と涕涙と後悔を突き抜けたところに戦争の真因が厳然として存在する」とはどういうことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 30

- 1 二度と戦争を引き起こさないためには、戦争を起こした人物に対する怒りを持ち続ける必要があるということ。
- 2 戦争の生み出した悲しみを自分のことのように実感できなければ、戦争を理解したことにならないということ。
- 3 戦争の悲惨さを具体的な物語として語り継いでいくことで、平和の精神が維持されていくということ。
- 4 感傷的に戦争をとらえているだけでは、その原因を真に把握することはできないということ。
- 5 戦争で死んだ人々を悼み、心から反省して祈りを捧げることでしか、戦争をなくすことはできないということ。

問十二 傍線⑨ 「奇しくも」とはどういう意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 31

- 1 案の定
- 2 偶然にも
- 3 仮にも
- 4 心外なことに
- 5 皮肉にも

三 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

企業が永続するためには、人間に人格があるように、企業に優れた「社格」がなければならない。人格者に人徳があるように、会社にも「社徳」が必要なのである。

企業の目的は [a] であり、利益が出ている会社が良い会社であり、儲からない赤字の会社は、 [b] 優れたサービスを提供しても、良くない会社だ、という考え方の人もいると思う。要するに企業の存在価値は利潤を生み出すことに [c] ある、と割り切るわけだが、はたしてそれが正しい考えなのであろうか。

私はそうは思わない。企業の目的は、永続することだと思うのである。永続するためには、利益が出ていなければならない。つまり利益は、 [A] であり、また企業活動の [B] である。

企業は社会的な存在である。土地や機械といった資本を有効に稼働させ、財やサービスを地域社会に提供して、国民の生活を保持する役目を [b] っている。さらに雇用の機会を地域に与えることによって、住民の生活を支えている。企業は永続的に活動を持続することが必要であり、そのために利益を必要としているのである。(中略)

企業の存在意義は、 [I] タンテキに言えば、地域社会に対し有用な財やサービスを提供し、併せて住民を多数雇用して生活の基盤を支えることに尽きると思っている。それが企業活動だが、企業とは地域の人を喜ばす存在であるべきで、それでこそ社会的存在ということができるのである。(中略)

不倒神話のあった金融機関が倒産し始めたのを [II] ケイキに、いまリストラの嵐が吹き荒れている。あらゆる業種、あらゆる規模の会社や銀行が、口を揃えてリストラの実施を発表している。

一口にリストラといっても、会社によって [X] の理由があるのはいうまでもない。

バブル時代に手を広げた事業の中で、不 [III] サイサン^①の部門や本業とは関係の薄い事業を [IV] 廃止する企業も多い。遅きに [Y] した感はあるが悪いことではない。日本の企業は [Z] 付和雷同型が多いから、他社が始めたからといって真似をして

始めた事業も多かった。人真似ではうまくいくわけではないのだが、いったん始めると、cなどもあってなかなかやめ難いのが日本的な体質である。

日本の企業には、長い間にいろいろと溜まった垢がある。また不要になった組織が昔のまま温存されているケースも多い。日本人は急激な変化を嫌い、穏やかに変わらざるを得ないから、わかっているけれど改カクが遅れていることがたくさんある。

そう考えると、現在の転換期は、ピンチにdった企業が改カクを、e遂行するのにいいチャンスである。この激動の時代を乗り切るため、リストラという名目で思い切ったfヘンカクを遂げるわけである。

gア、リストラを口実に人員整理を図る企業が、h多いのは、率直に言ってよくない傾向だと思わざるを得ない。iイ、企業というものは社会的な存在だからである。企業は、雇用を通じて地域社会と結びついている。その企業が社員の首を安易に切るといふことは、地域の雇用を守るといふ意味からしてもならないことだと思ふ。

社員にとってj③ 臧首されることは生活の基盤を失うことであり、人生の一大事である。長年、貢献してきた社員の首を切ること、よほどのことがなければやるべきことではない。

企業の側から見ても、社員を減らすことは人件費の削減にはなるが、同時に戦力の低下を意味することを忘れてはならない。kウ、人件費の圧縮が緊急の課題となつてくる場合には、人員整理もやむを得ないだろう。でもそれはあくまで緊急避難として許されるのであつて、長期的には雇用を守り競争力を強めることが、企業にとっての重要事であることはいままでもない。

リストラは、収益に貢献していない部署を縮小し、反面、営業部門を手厚くし、社内の活性化を目的とすべきである。lエ 人を縮小する場合には、まず老齢の役員や管理職、しかもmカンシヨクにある人にお引き取り願ひ、さらにといふときには扶養家族のいない独身者に社外転身を図つてもらふというように、思いやりのある策を提示する必要がある。さもないと結果として戦力の中心である優秀な社員が退社してしまい、戦力にならない人だけが残るといふ、nz のことが起きることになる。

※ なお、出題の関係上、一部原文の漢字表記をカタカナ表記に改めた箇所がある。

問一 傍線①「社徳が必要なのである」とあるが、それはどのようなことか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。

解答番号は

- 1 会社経営にあたっては会社の伝統を重んじるべきである。
- 2 他社の優れた経営面は、積極的に取り入れるべきである。
- 3 会社経営は、利益を地域社会に還元するという社風を持つべきである。
- 4 会社経営のためには、徹底的に利益を追求するべきである。
- 5 会社経営は、善や正義に従う能力を持つべきである。

問二 と にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答

番号は

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| 1 | A | 必要 | B | 結果 |
| 2 | A | 手段 | B | 結果 |
| 3 | A | 必要 | B | 源泉 |
| 4 | A | 手段 | B | 責務 |
| 5 | A | 当然 | B | 責務 |

問三 から にあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解

答番号は

- | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|---|---|----|---|---|
| 1 | a | 隆盛 | b | 負 | c | 面体 | d | 遭 |
| 2 | a | 営利 | b | 担 | c | 面子 | d | 陥 |
| 3 | a | 利益 | b | 持 | c | 意地 | d | 蒙 |
| 4 | a | 営利 | b | 図 | c | 体裁 | d | 偶 |
| 5 | a | 利益 | b | 計 | c | 思惑 | d | 会 |

問四 にあてはまる最も適当な四字熟語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 千載一遇
- 2 千秋万歳
- 3 千差万別
- 4 千言万語
- 5 千客万来

問五

Y

にあてはまる最も適当な語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

36

- 1 逸
- 2 決
- 3 失
- 4 察
- 5 達

問六 傍線②「付和雷同」の意味として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

37

- 1 他人の意見が良く思えて、それに引きずられること。
- 2 常に他人の行動が気になり、自分の意志が決められないこと。
- 3 世論を尊重し、自分の意見を抑えて協力すること。
- 4 自分の主義主張を持たず、他人の言動に同調すること。
- 5 他人の意見を見せず、強引に自分の意見を通すこと。

問七 から にあてはまる言葉として最も適当な組み合わせを、次の1から5の中から選びなさい。解答番

号は

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|-------|---|-------|
| 1 | ア | だが | イ | なぜなら | ウ | もちろん | エ | したがって |
| 2 | ア | しかし | イ | もともと | ウ | だが | エ | つまり |
| 3 | ア | そこで | イ | すなわち | ウ | しかし | エ | ところが |
| 4 | ア | そして | イ | やはり | ウ | どうしても | エ | とうぜん |
| 5 | ア | つまり | イ | とうぜん | ウ | それでも | エ | やはり |

問八 傍線㉠「いくら」、㉡「ある」、㉢「廃止する」、㉣「遂行する」、㉤「多い」を品詞別に分類した組み合わせとして最も適

当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- | | |
|---|---------|
| 1 | ㉠と㉡と㉢と㉤ |
| 2 | ㉠と㉡と㉢と㉣ |
| 3 | ㉠と㉢と㉣と㉤ |
| 4 | ㉡と㉢と㉣と㉤ |
| 5 | ㉠と㉡と㉣と㉤ |

問九 傍線③「減首」の読みと意味の組み合わせとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号

は

- 1 「かしゅ」と読み、「退職する」という意味。
- 2 「きしゅ」と読み、「免職する」という意味。
- 3 「ざんしゅ」と読み、「首を切る」という意味。
- 4 「しゅしゅ」と読み、「免職する」という意味。
- 5 「かくしゅ」と読み、「解雇する」という意味。

問十 傍線I「タンテキ」、II「ケイキ」、III「サイサン」、IV「ヘンカク」、V「カンシヨク」にあてはまる漢字を、次の1から5の中からそれぞれ選びなさい。解答番号はIは 、IIは 、IIIは 、IVは 、V

は

I	1	端的	2	胆的	3	单的	4	短的	5	淡的
II	1	継起	2	継期	3	契機	4	経企	5	系期
III	1	採算	2	済算	3	歳算	4	債算	5	最算
IV	1	変核	2	変較	3	変革	4	偏角	5	変格
V	1	貫職	2	陥職	3	間職	4	官職	5	閑職

問十一

Z

に入る最も適当な四字熟語を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

46

- 1 東奔西走
- 2 深謀遠慮
- 3 本末転倒
- 4 鶏口牛後
- 5 四面楚歌

問十二 筆者は企業をどのような存在としてとらえていると思うか。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答

番号は

47

- 1 企業は利益を生み出すことに存在価値があり、赤字企業が社会的貢献ができなくてもやむを得ない。
- 2 企業は社会的な存在であり、経営不振の場合でも、慎重な対策をとって存続させる必要がある。
- 3 企業の目的は継続させることなので、経営不振の場合の人員整理は、当然行われるべきである。
- 4 企業は地域社会に貢献するものとして存在し、赤字企業であっても人員整理は絶対に許されない。
- 5 企業の目的は利益を追求することであり、利益が出ているときだけ、地域社会への貢献を考えればよい。

(以下余白)